

一般質問



平間奈緒美 議員

Q 公共施設玄関前の受動喫煙対策を

A 平成29年4月から敷地内全面禁煙に



喫煙場所が変わりました(榎木生涯学習センター)

たばこの健康被害について県は、喉頭がんの96%、肺がんの72%、狭心症や心筋梗塞などの36%が喫煙によるものと報告している。がん、脳卒中、心筋梗塞は、いずれもたばこによる影響を受けていると見られる。

問 建物の中では禁煙となっている町は、公共施設だが、玄関前からの出入り口に喫煙所を設けている。利用者には子どももいる。受動喫煙防止の観点から、玄関前から喫煙

場所を離す分煙対策を。受動喫煙防止の観点から、町の公共施設から、町の公共施設の喫煙場所については、玄関などの入口付近から十分に離れた場所に移動する。平成29年4月から、町が設置管理する公共施設全ての敷地内全面禁煙を実施する。経過措置として、敷地内全面禁煙の事前広報を徹底する。

町長 役場庁舎内も全面禁煙になるのか。

問 受動喫煙防止、健康を守る面からも、敷

地内禁煙を進めていく。喫煙場所をきちんと設けてはどうか。

町長 喫煙のモラルやマナーについては、一人一人がマナーの大切さに気づき、考え、行動していただけるように啓発をしていく。

問 歩行喫煙や吸い殻のポイ捨てなど、マナーの啓発は。

町長 喫煙のモラルやマナーについては、一人一人がマナーの大切さに気づき、考え、行動していただけるように啓発をしていく。

問 歩行喫煙や吸い殻のポイ捨てなど、マナーの啓発は。

町長 喫煙のモラルやマナーについては、一人一人がマナーの大切さに気づき、考え、行動していただけるように啓発をしていく。

Q 柴田町における地方創生の取り組みは



吉田和夫 議員

A インターネットを駆使した具体策を議論



販路拡大が望まれる「葉坂のリンゴ」

問 地方創生の4つの専門部会の進捗状況は。専門部会は、地方における安定した雇用を創出する「雇用創出部会」、地方への新しい人の流れをつくる「交流促進部会」、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる「生活支援部会」、時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連絡する「まちの魅力・活力部会」である。

町長 町の地方創生を推進するために、町の施策を全国に情報発信していく必要があると考えている。その手法として、国や宮城県はもちろんのこと、町のホームページを利用することも1つの方法と考え、議論をして

問 町を活性化するため、インターネットを利用して、ふるさと名品を全国に発信できないか。

町長 今年度から柴田町商工観光振興事業費補助金のメニューに、地域の独自性を生かした商品開発や、インターネットを使用した販路開拓に要する経費を助成する特産品開発等事業を追加し、個人や事業者などへの支援を始めた。



斎藤義勝 議員

Q マイナンバー制度の導入をどう捉えるか

A 社会保障、税、災害対策の行政手続きが基本



マイナンバーの説明パンフレット

問 マイナンバー制度のメリットとデメリットは。

町長 メリットは、行政サービスの受給状況を把握できることから、公平公正な社会が実現できること。また、行政手続きの簡素化による国民負担の軽減や利便性の向上、さらに、行政機関の労力削減による効率化が図られる。デメリットは、個人情報漏えいや不正利用への不安、また、国による一元管理への懸念

である。

問 マイナンバー制度の導入をどう捉えるか。

町長 現段階では社会保障、税、災害対策の行政手続きを基本に進める。国は、コンビニでの住民票の発行、健康保険証代わりなどの制度設計を計画しているが、柴田町では難しい。自分の個人情報を誰がいつ提供したのか、確認する方法は、庁舎窓口で確認できる。また、パソコン

を利用してもできるが、パスワードの設定など、高いハードルを越えないとできないようになってくる。

問 町民の不安である情報漏えいなどの軽減に向けて、町は、いかに適切な措置を講ずるのか。

町長 町のホームページのマイナンバーの項目の中で、町が取り組むリスク回避策を町民に報告しているの、これを見たい。

問 以前質問した船岡公民館前丁字路は、右折時に見通しが悪く、たびたび衝突事故が起きている。船岡小学校にも面し、通学路や生活道路で、利用者も多い。前回、町長は「関係機関との協議の中で、道路利用者の安全確保に最も有効な改善策について、カーブミラーの設置も含め検討する」と答弁した。現在の進展は。

町長 大河原警察署、県道管理者の大河原土木

事務所と協議をしてきた。公安委員会から、公民館前の丁字交差点は、町道と県道の交差角度が鋭角なため、カーブミラー設置による効果的な安全確保は難しく、目視による安全確保が重要であると指摘された。

問 何もできないというが、通学時、車の交通量も多いので、子どもの安全を守り、また、運転する側の安全も確保するため、町として今後、どのような対策を考えるのか。

町長 看板を設置し、事故予防を啓発する以外にないと考えている。

Q 船岡公民館前丁字路の安全確保の進展は

A 具体的な解決策は見つからない



佐々木裕子 議員



船岡公民館前丁字路



白内恵美子 議員

Q いじめは教育委員会が早急に対応を

A 学校が組織として誠意ある姿勢を示す



元気に仲良く遊ぶ子どもたち（槻木小学校）

問 いじめが起きた場合は、早急に対応が求められる。しかし、学校現場は多忙であり、組織として取り組むまでに時間がかかる。いじめの相談を、最初の段階から教育委員会が受けては、

教育長 学校では、先生やスクールカウンセラー、教育委員会の教育相談員への相談以外にも、文部科学省や警察、法務局の電話相談窓口のカードを配布している。複数の窓口の提供が大切だと考える。

問 いじめを受けた本人や家族が、教育委員会へ相談する仕組みは、

教育長 いじめの申し出があった場合には、重く受け止める。学校長自らが保護者と向き合い、いじめの状況を丁寧に説明する。まずは、学校が組織として誠意ある姿勢を示すよう各学校長にお願いしている。

問 仙台市立中学生の自殺報道後、教育委員会としての取り組みは、

教育長 校長会において、いじめられたという訴

えを大事にし、その子に寄り添う対応を第一にすることを確認した。

問 鎌倉中央図書館の呼びかけた「学校がつらい子は図書館へ」をどう考えるか。

教育長 読書に親しむことの勧めは良いと思う。鎌倉の図書館には、1日で6万件を超える反響があった。柴田町で呼びかけはできるか。

生涯学習課長 柴田町図書館も利用者の秘密は守るので、同じ気持ちと思う。



佐々木守 議員

Q 終末期医療相談 どうしていくのか

A かかりつけ医や、みやぎ県南中核病院と連携を推進する



槻木地域包括支援センター（第二常磐園内）

問 厚生労働省は、終末期医療の必要な情報を提供する相談支援チームの整備事業を、来年度から全国の都道府県で実施する方針である。町の考えは、

町長 終末期医療の相談は、病院においてソーシャルワーカーや主治医が中心となっており、患者・家族と話し合いが行われている。町としても、かかりつけ医や、みやぎ県南中核病院と連携を図っていく。

問 終末期の患者が、病院で一定の治療が終了し、自宅に戻り在宅で最期を迎えたい場合は、

町長 地域包括支援センターが、本人や家族と相談して介護認定の手続きが行われ、必要な介護サービスの提供が始まる。また、医療ケアが必要な場合には、訪問看護ステーションが訪問して、医療と介護双方の連携が図られている。

問 町では、終末期医療の相談を受けていな

いとのことだが、中核病院に終末期医療棟ができ、たぶん相談は直接病院に行く。町では、医療費や介護の面などの相談が主となる。

問 終末期医療に対して、現在の介護制度から、もう一歩進んだ制度や対応を考えるべきでは、

福祉課長 終末期医療は、若い人にも高齢者にも来るもので、介護の面から、自宅であれば穏やかな最期を迎えられるように支援していく。



秋本好則 議員

Q 槻木地区の狭い歩道の改善策は

A 他の狭い道路整備を優先させる



狭い歩道、車道へはみ出すベビーカー

問 槻木まちづくり研究会の課題の指摘から問う。ソフト事業を繰り返すのか。まちづくりのハード事業の提言を求めめることはできないか。岩沼市の玉浦西地区の集団移転事業では、まちづくりのハード面も住民組織に委託して、県内で一番早く復興事業を進めた。最初にハード面を提案したら、皆さんからハード面は必要ないと言われた。

問 槻木の歩道の貧弱さは、私自身が体感している。白幡地区で一番狭い所の幅ほどの位か。
答 たぶん70センチと思う。
問 実測で55センチである。この幅では、車椅子もシニアカーも通れない。改善する計画はあるか。
答 歩道が狭いことは承知している。工夫が必要な事項と認識する。歩道中央の電柱の移設は。

問 管理者に話をして、移設の要請をする。埼玉県川口市では、中央線を取ってしまった所がある。道路幅は同じでも、この方法で歩道を広げている。考えられないか。
答 他が実施している事例は知っているが、柴田町とは別の話である。そこで、住民自身が必要が出てくるのでは。人口が減る中で、新たな事業はできない。



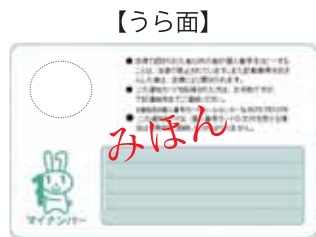
広沢 真 議員

Q マイナンバー制度での情報漏えいリスクへの町の対応は

A ガイドラインに基づき個人情報の適正な扱いを検討・実践する



【おもて面】



【うら面】

通知カードのイメージ

問 マイナンバー制度のリスクと問題点をどのように考えるか。
答 個人情報の外部への漏れと個人番号の不正利用への懸念がある。また、国が個人番号を基に情報の一元管理をするのではという不安もある。
問 職員の研修をどのようにするか。
答 副町長を本部長に、番号制度準備本部体制を立ち上げている。

問 広報しばた7、8月号に、関連する記事を掲載し、8月15日付けお知らせ版に、番号通知カード送付の記事を掲載した。また、9月1日に世帯回覧でチラシを配布している。
問 情報漏えいがあった場合、責任の所在はどうなるのか。
答 個人情報保護法よりも強化された罰則が適用され、処罰される。漏えいした個人情報の内容、原因によっては、被害者から損害賠償請求を受ける可能性がある。使用者責任を問われ、自治体が責任を負う。

問 個人番号カード申請・交付で、混乱が起きているのでは。
答 パスワード紛失などのトラブルなどが起こると考えている。カード再交付、パスワード変更の手続きに備える。
問 本人確認は。
答 免許証などで対応する。



有賀光子 議員

Q 医療と介護の連携強化の取り組みは

A 説明会や研修会を開催し連携事業を推進していく



9月1日に開所した柴田町地域包括支援センター船岡駅前事業所

地域包括ケアシステム構築への第一歩となる医療介護総合確保推進法が、平成26年に成立した。高齢者が安心して暮らせる地域社会をどのようにつくり上げていくかが、最大の課題となる。

問 在宅医療、介護まで一連のサービスを、

町長 町では、郡内の動向と歩調を合わせ、県

や医師会、介護事業所などの支援をいただきながら、説明会や研修会を開催し、連携事業を推進していく。

問 要支援事業と予防給付事業が、国から市

町村に移管される。要支援者の多様なニーズにどのように取り組み、効果的な介護予防事業をどう提供するのか。

町長 町の実施時期は平成29年度としている。

現在、町地域包括支援センター、町社会福祉協議会と連携し、研修会の開

催や視察を行い、事業に向けて準備を進めている。今年度、各職種で構成する柴田町地域包括ケアネットワーク連絡会などによる協議体を作り、生活支援コーディネーターを配置する。協議体とコーディネーターが共同して、関係機関、ボランティア団体などの連携を図りながら、生活支援サービス・介護予防サービスを構築していく。



水戸義裕 議員

Q 在宅医療の推進システムの構築は

A 地域の医師会などの支援を受け構築を図る



開所した訪問看護ステーション（船岡中央2丁目）

問 高齢化が進むに従い、病院の困難な人が増える。医療費抑制から在宅医療のニーズが高まっていくのでは。町は、在宅医療の推進が重要になる。どう考えるか。

町長 必要性が増すことから重要と認識している。自宅での生活継続のため、医療と介護の連携が必要となる。多職種の協働体制を作り、地域医師会などの支援を受けて連携体制の構築を図る。

問 在宅医療についての周知をしてほしいと

思うが、どうか。

福祉課長 在宅医療は、家族の負担が大きいのではという懸念もあると思う。

他方、医療と訪問看護とヘルパーと三位一体の連携がとれている人もいる。住民への周知はしなければならぬと考えている。

問 在宅医療は、医療と介護の連携という点で、課題は何か。

福祉課長 医療と介護の顔の見える関係が大事である。また、24時間切れ目のないサービスなどが重要であり、課題である。

構築が必要と考える。

問 訪問看護ステーションと地域包括支援センターとの連携とは。

福祉課長 医療が必要だという人がいるときは、医師の指示で訪問看護ステーションが動く。その

医師などと連携を取り、自宅を訪問してほしいということなら、地域包括支援センターが中に入って、医療と介護の連携を取るといった形になっている。

一般質問

問 春の全国学力・学習状況調査の県平均は、全国平均を下回ったと発表された。県教育委員会は、昨年からの対策を練ってきたが、対策は失敗したと思う。本町の結果は、

教育長 小学校は、国語Bが県平均を上回ったが、他の4教科は県平均に届かず、中学校では3教科とも県平均に届かなかった。各学校では、県教育委員会が提唱する学力向上につながる5つの提言の実践に取り組んできた。

問 全国学力・学習状況調査の結果を受け、研究主任を中心に分析に努め、さらなる改善策を検討している。

教育長 町の小中学校の成績は、県内でも良くないと言われている。どうしたらよいのか。

教育長 教師の資質の向上のため、県教育委員会の指定を受け、6つの小中学校で指導主事の指導を受けている。また、指定校の1校は、文部科学省の教科調査官の指導を受

ける研修をしている。先生は、秋田を含めて東北6県、筑波大学、御茶ノ水大学や東京学芸大学附属校の公開研修に参加し、そこで学んだことを各小中学校に伝えている。子どもたちへの指導力を高めていくことと、子どもたちが自分の言葉で表現する力をつけてやるということを焦点に、残りの半年間を頑張っていく。

Q 全国学力・学習状況調査の本町の結果は



我妻弘国 議員

A 小中学校とも県平均を下回り、改善策を検討中



真剣に授業に取り組む生徒たち（船岡中学校）

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

吉田和夫 議員

問 学校のトイレを洋式に。
答 トイレの洋式化を計画的に進める。

佐々木裕子 議員

問 庁舎前から船岡城址公園へのメイン路に、利用者の安全と誘導のため足元照明の設置を。
答 今は防犯灯のLED化を進めており、1～2年かかる。誘導灯という観点も必要と考える。

白内恵美子 議員

問 柴田町に、視覚障害者福祉協会を設置することを提案する。
答 当事者や支援者による自主的な立ち上げが大事であり、町は側面から支援していく。
問 保育士の無資格者が放課後児童支援員の資格を取得した場合は、待遇改善につながるのか。
答 資格を有した際には、現行の保育士等を参考に賃金の改定をしたいと考えている。
問 学校図書館司書は、当初の計画どおり平成29年度に9人とし、全校配置するよう提案する。
答 全校配置が理想だが、町全体の事業バランスに配慮し、平成30年度7人に変更した。

佐々木 守 議員

問 町は、空き家対策条例を制定するのか。
答 空き家等対策特別措置法により、条例を制定しなくても除却修繕の勧告と命令ができる。

秋本好則 議員

問 花咲山構想のように町全体に関わる事業は公共事業ではないか。全体像の説明はどこにあるか。
答 公共事業だが植栽計画だけである。千桜橋や園路整備などは個別に説明している。

有賀光子 議員

問 女性の視点を生かした防災計画とするため、防災会議の女性委員の割合を30%にできないか。
答 現在、女性委員の割合は27%である。次回の防災会議委員の更新には30%を達成したい。

水戸義裕 議員

問 最近、選挙の投票率は下がる傾向である。投票率アップに、選挙公報の選管ホームページ掲載は。
答 投票率アップ策に有効と考える。次期町議選から選管のホームページに掲載したい。
問 議会での一般質問は、議員権限の最たるものである。どのように町政に反映しているのか。
答 一般質問による意見や提案については、有効性を考慮して、財源を有効配分し政策に反映させる。

我妻弘国 議員

問 遺跡の保存、遺物の展示方法などを、学芸員で再検討する必要があるのでは。
答 収蔵資料の保管、展示の管理運営の専門知識を持つ職員の配置を検討していきたい。

議会からの指摘事項(所管事務調査報告書)

常任委員会レポート

各常任委員会は
各課の仕事を
調査しています。

総務 常任委員会

平成27年7月8日(水)~7月9日(木)



地域おこし協力隊について、七ヶ宿町を行政視察

調査内容

- ①まちづくり推進センター(ゆる.ぷら)について
- ②国勢調査事務について
- ③地域おこし協力隊について(七ヶ宿町行政視察)

調査結果

- ◆現在の機能が、一部生涯学習センター等と重複している。まちづくり基本条例の趣旨を踏まえ、再度果たすべき役割を精査すること。《まちづくり政策課》
- ◆オンライン調査の導入など、従来の調査方法との変更点もあるため、より一層のきめ細やかな対応を図り、調査に万全を期すこと。《まちづくり政策課》
- ◆今年度、柴田小学校区に配置予定の地域おこし協力隊については、受け入れ態勢をしっかりと構築し、隊員が活動しやすい環境を整えておくこと。《まちづくり政策課》

文教厚生 常任委員会

平成27年6月15日(月)~6月16日(火)

調査内容

町内小学校の管理運営状況及び学校からの要望について

調査結果 《教育総務課》

- ◆雨漏り対策を行うこと。(東船岡小学校・槻木小学校)
- ◆学校図書館の椅子と机を、児童に合ったものにする。こと。(槻木小学校・柴田小学校)
- ◆暖房設備の老朽化対策を行うこと。(船岡小学校・船迫小学校)
- ◆プールの老朽化に対する修繕を行うこと。(柴田小学校・西住小学校)
- ◆グラウンドの水はけ対策を行うこと。(東船岡小学校)
- ◆ブルーヒーターを使用しているが、CO₂濃度が基準値を超えているので、早急に対策を講じること。(西住小学校)



柴田小学校プールを調査

産業建設 常任委員会

平成27年8月5日(水)~8月6日(木)



船迫配水場の現状を調査

調査内容

- ①鷺沼排水区雨水整備事業について(上下水道課)
- ②船迫配水場・山田沢配水場の現状について(上下水道課)
- ③葉坂高原野菜生産組合について(農政課)
- ④議会懇談会での質問事項等に関する現地調査(都市建設課ほか)

調査結果

- ◆鷺沼5号雨水調整池の工事に当たっては、段階ごとに現地説明会を開催してはどうか。《上下水道課》
- ◆船迫配水場の水回りは清潔に保ち、山田沢配水場は歴史的な価値も高く観光資源としての活用を検討されたい。《上下水道課》
- ◆葉坂高原野菜生産組合は、本町初めての観光農園事業も計画していることから、町としてもさらなる支援が望ましい。《農政課》
- ◆町道中名生2号線は、拡幅工事の要望がある。計画が何年も先としても、歩行者の安全を優先されたい。《都市建設課》
- ◆街路樹を植栽する場合は、歩道や大木の持つ根上がりの習性も考慮されたい。《都市建設課》

平成27年議会懇談会

一般懇談会

6月17日と18日に町内6会場で開催しました。ことしのテーマは「おしえてください。あなたの健康づくり」と「町政・議会」でした。参加された皆さまからの貴重なご意見に対する回答の一部を掲載します。

なお、議会懇談会報告書は、町議会のホームページにも掲載しています。

不法ゴミ投棄 対策を

質問 太陽の村への散歩道に、不法投棄のゴミが散乱しています。早急な対策を考えてください。

回答 周辺の町有地に、監視カメラや啓発看板などの設置を行います。
(町民環境課)

人間ドック受診に 補助金導入を

質問 人間ドック受診に、費用を助成できませんか。

回答 人間ドック費用の助成については、実施している自治体があります。健康の保持・増進を図るうえで有効な事業であると考えますので、実施に向け検討していきます。
(健康推進課)

介護難民増加に 対する町の対応は

質問 高齢者が増えて、介護難民が増えると推察

されますが、町の対応は。
回答 現在、国を挙げて高齢者を支えていく地域包括ケアシステムの構築に着手しています。本町も同様に、高齢者の暮らしの安定に努めていきます。
(福祉課)

プレミアム付き商品券 販売の混乱要因は

質問 プレミアム付き商品券の発売時の混乱は、なぜ起こったのですか。

回答 混乱が起きた要因は、早期完売を目指して3割増商品券としたこと。前回の苦い経験から、消費者の購買意欲を高めるため、大型店舗で使えるようにしたこと。購入者の利便性を考慮し、槻木地区、船迫地区、船岡地区の3カ所での販売を行ったため、1カ所当たりの販売セット数が少なくなってしまうことなどが挙げられます。
(商工観光課)

里山ハイキング講座 の拡充を

質問 里山ハイキング講座は定員30人となつていますが、増やせませんか。

回答 職員を一人増やし、2グループにして40人くらいまで対応しています。人気が高いことから、開催日数を増やしていきます。
(生涯学習課)

集会所トイレの 改修を要望

質問 集会所のトイレが和式で不便利です。洋式トイレ改修を要望していますが、どうなっていますか。

回答 集会所のトイレは、年次計画で改修を実施してきています。実態調査のうえ、早期に改修できるように進めていきます。
(財政課)

「一般懇談会」の参加者数

開催日時	開催会場	参加人数
平成27年 6月17日(水) 19:00~21:00	槻木生涯学習センター	10人
	柴田町保健センター	8人
	船迫生涯学習センター	11人
平成27年 6月18日(木) 19:00~21:00	西住公民館	10人
	船岡生涯学習センター	16人
	農村環境改善センター	7人
計		62人

「一般懇談会」の質問・意見・要望の件数

項目	会場件数	アンケート件数
健康づくりに関すること	16件	1件
町政に関すること	44件	2件
議会に関すること	12件	10件
計	72件	13件



船岡生涯学習センターの懇談風景

みなさんの声にお答えします

7月8日に船岡公民館で柴田町体育協会と懇談会を開催しました。体育協会と議員の間で活発な意見交換を行いました。その中の一部を掲載します。

団体懇談会

【柴田町体育協会】

総合体育館の建設は

質問 体育館建設に向け、現在3案があるようです。規模を決めるとき、大河原町の「はねっこアリーナ」プラスアルファの大きさにしてください。

回答 (仮称)総合体育館基本構想(3案)を基に、関係団体との意見交換会を開催し、町の財政を見据えたうえで、安全面を考慮した規模を決定したいと思います。

質問 大河原町より人口や工場が多い柴田町の方が、早く建設できたのではないのでしょうか。

回答 柴田町では、スポーツ施設の整備を順次進めてきました。今後は、(仮称)総合体育館の建設に向けて、計画的に進めていきます。

(スポーツ振興課)

町の財政は

質問 町長は、町には貯金があるといっています。が、本当ですか。

回答 平成26年度末で、16億1千万円と過去最高の積立金がありました。

しかし、今年度、道路や側溝などの整備、学校施設整備などに、3億3千万円を取り崩しました。常時10億円程度を定額貯金とした財政運営を心がけています。(財政課)

議会についての質問

質問 スポーツ都市宣言をしています。議員はどう考えていますか。

回答 柴田町には柴田高校や仙台大学があり、環境にも恵まれています。連携を深めていきたいので、その体制づくりをしていきたいと考えています。

(議会)

議会から 体育協会への質問

質問 新しい体育館ができたなら、体育協会の事務所はどうなりますか。

回答 拠点は新しい体育館となるので、事務所の要望を出していきます。

(体育協会)



活発な意見が交わされた懇談会

議会から一言

総合体育館建設については、将来の財政負担などを考慮し、規模的なこと、防災拠点施設としての役割、また、周辺の排水対策など、議論を重ねていきます。

第2回議員研修会



認識を新たにした「脱メタボ」の研修会

8月19日、柴田町保健センターにおいて宮城県保健福祉部長の伊東昭代氏を講師に「脱メタボへの挑戦!」をテーマにした第2回議員研修会を開催しました。伊東氏は講演で、メタボに陥りやすいのは「肥満」「歩かない人」「食塩摂取過多」「飲酒習慣者」「喫煙者」に多く、脱メタボで長寿のカギは「減塩!あと3g」「歩こう!あと15分」「めざせ!受動喫煙ゼロ」を心掛けた生活習慣を力説されました。

参加者は、町民・職員・他市町議員を含め55人でした。

あなたの一言



津田 紀子 さん
(西船迫3丁目 在住)

●柴田町に住んで感じたことは

生まれたときから住んでいて、緑豊かな自然と温かい人たちに囲まれて育ってきました。大学の4年間、柴田町から離れて暮らしましたが、あらためて柴田町は生活しやすい環境が整っていると感じました。

●柴田町で好きなところは

太陽の村の山頂から眺める町の景色や、白石川沿いに咲く一目千本桜の風景などが、とても好きです。

●町に何を望みますか

障害を持った方々に対する福祉サービスの強化、将来の社会を担う子どもたちの教育制度や遊ぶ場所の確保、遊具などの整備に力を

入れてほしいです。

●議会だよりを読んでいますか

たまには目を通しますが、正直なところ熟読はしていませんでした。これからは、もっと関心を持って読みたいと思います。

●議会、議員に望むことは

議会で話されている内容や議員さん方の活動は、私たち町民には伝わりにくいので、より身近に感じられるような開かれた議会にしてほしいです。

■議会から一言

町民の代表であるという目線を忘れずに活動していきます。ご意見ありがとうございます。

未来へ向けて

◆編集後記◆

昭和53年8月31日の創刊号に、「議会だより」の発刊の目的は、議会活動の状況を町民の皆さんに周知し、町政に対する関心を高め、また、町議会に対する認識を深めていただき、正しい理解と批評を期待し町政の発展に寄与することにあります」と記載されています。この目的は、時を経て何ら変わりはありません。発刊に当たっては、町民の皆さんを始め、多くの方々の協力や助言を得て編集されてきたものです。

今号は記念号ということでもあり、初心を忘れてはならないという高い意識を持って編集に取り組みました。

今後も、これまで培った編集手法を生かし、第200号に向けて、議会活動が分かりやすい内容となるよう努めていきます。皆さんにご愛読いただくことが何よりの励みとなります。



議会広報常任委員会
委員長 安部 俊三

ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

12月会議は

12月7日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

12月7日(月)・8日(火)・9日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果 各種会議の出欠状況を掲載

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより150号は、約15,500部作成しています。1部当たりの経費は約37円です。